

麻酔科 臨床研究発表実績（平成 28 年度～令和 2 年度）

令和 2 年度

【論文】

1. Shimizu K, Hoshi T, Iijima T : Occlusion of multi-holed catheters used in continuous wound infusion in open gynecologic surgery: A pathological study、Saudi J Anesth、14 ; 302-6、2020
2. Yanaka A, Hoshi T : Laryngospasm caused by removal of nasogastric tube after tracheal extubation: case report、J Anesth Clin Care、8 ; 061、2021 DOI: 10.24966/ACC-8879/100061
3. 片岡 伸子、半田 育子、星 拓男、金澤 順子、吉田 幸恵：不必要な肌露出を予防するために考案した手術用肌掛けの効果、手術医学、42(1) : 29-33、2021

【学会発表】

1. 谷中 亜由美、星 拓男．抜管後の胃管抜去に伴い喉頭痙攣をきたし、低酸素血症を発症した一例．日本集中治療医学会第 4 回関東甲信越支部学術集会、2020.9（WEB）
2. 砂辺 芽生、村田 雄哉、山下 創一郎．先天性 QT 延長症候群と卵アレルギーを合併した 4 歳女児における全身麻酔の一例．日本心臓血管麻酔学会第 25 回学術大会、2020.9（WEB）
3. 谷中 亜由美、横内 貴子、星 拓男．予定手術患者の肺塞栓症および深部静脈血栓症の検査．第 42 回日本手術医学会総会、2020.12（高松）

令和元年度

【論文】

1. 吉田美伽、山崎裕一郎、星 拓男：ヒドロキエチルデンプン 130000 の術中大量使用の腎機能への影響、麻酔、69(1) ; 66-71、2020
2. 吉田美伽、星 拓男：偶発性低体温症およびアルコール性ケトアシドーシスに続発した急性重症膵炎 患者の治療経験、麻酔、69(3) ; 312-316、2020

【著書】

1. 星 拓男：Ⅲ．気道確保、鎮静下経口気管挿管、救急・集中治療 2020-21 ; 69-77、2020

【学会発表】

1. 新里恵美菜、星 拓男．全身麻酔導入時の Dexamethasone 単回投与が血糖値に及ぼす影響．日本麻酔科学会第 66 回学術集会、2019.5（神戸）
2. 星 拓男．全身麻酔中の人工呼吸の症例、最近の人工呼吸器事情・呼吸管理事情（PBLD）．日本麻酔科学会第 66 回学術集会、2019.5（神戸）
3. 菊池真秀、奥山和彦．左冠動脈肺動脈起始症 2 症例の麻酔経験．日本心臓血管麻酔学会第 24 回学術集会、2019.9（京都）
4. 片岡伸子、半田育子、金澤順子、吉田幸恵、星 拓男．不必要な肌露出を予防する手術用肌掛け

の効果検証. 第 41 回日本手術医学会総会 2019.9 (東京)

5. 星拓男. 手術部位感染 (SSI) と体重、出血量、手術時間の関係、日本臨床麻酔学会誌受賞講演. 日本臨床麻酔学会第 39 回大会、2019.11 (軽井沢)

平成 30 年度

【論文】

1. Horiguchi Y, Hoshi T, Yoshimatsu A, Yoshida M. Acute arterial occlusion due to left ventricular thrombus of Takotsubo cardiomyopathy in a young adult: a case report. JACR 2018.4 DOI: 10.1186/s40981-018-0190-1
2. 柏真人, 武石浩明, 庄司紀子, 半田育子, 星拓男, 山崎裕一郎: 手術室災害対策訓練と振り返りによる改善, 日本手術医学会誌、40 (1); 30-33, 2019
3. 金澤順子, 半田育子, 片岡伸子, 吉田幸恵, 星 男, 山崎裕一郎: 手術患者のプライバシー保護 を重視した肌掛けの考案, 日本手術医学会誌、40 (1); 21-23, 2019
4. 半田育子, 星拓男, 金澤順子, 片岡伸子, 吉田幸恵, 山崎裕一郎: 消化器外科手術における低体温予防効果の検証, 日本手術医学会誌、40 (1); 17-20, 2019
5. 星拓男, 宮川尚美: 手術部位感染 (SSI) と体重、出血量、手術時間の関係、日本臨床麻酔学会 誌、38 (3); 285-290, 2018 ;

【学会発表】

1. 堀口雄大、星拓男、吉松文、吉田実伽. 急性下肢動脈閉塞症に対する緊急手術後の精査でたこつぽ心筋症による左室内血栓が原因と判明した 1 例. 日本麻酔科学会第 65 回学術集会、2018.5 (横浜)
2. 吉田美伽、萩谷圭一、山崎裕一郎、星拓男. 偶発性低体温症およびアルコール性ケトアシドーシスに続発した急性重症膵炎の 1 例. 日本集中治療医学会第 2 回関東甲信越支部学術集会、2018.6 (宇都宮)
3. 柏真人、武石浩明、庄司紀子、半田育子、星拓男、山崎裕一郎. 手術室災害対策訓練と振り返りによる改善【活動報告】. 第 40 回日本手術医学会総会、2018.10 (東京)
4. 金澤順子、半田育子、片岡伸子、吉田幸恵、星拓男、山崎裕一郎. 手術患者のプライバシー保護を重視した肌掛けの考案. 第 40 回日本手術医学会総会、2018.10 (東京)
5. 半田育子、星拓男、金澤順子、片岡伸子、吉田幸恵、山崎裕一郎. 消化器外手術における低体温予防効果の検証. 第 40 回日本手術医学会総会、2018.10 (東京)
6. 星拓男. JSA-PIMS とどう付き合うか; ユーザーの立場から. 第 36 回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会シンポジウム、2018.12 (津)
7. 新里恵美菜、平本芳行、梅崎健司、時任剛志、関谷芳明、山田均、荒木祐一、松宮直樹. ミニトラック II を介して Intrapulmonary Percussive Ventilation (IPV) を実施した 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会、2019.3 (京都)

平成 29 年度

【学会発表】

1. 星 拓男. 手術中の地震・火事対応 (PBLD). 日本麻酔科学会第 64 回学術集会. 2017.6.8-10 (神戸)
2. 綾 大介, 星 拓男. HYPERLINK "<https://trios.tsukuba.ac.jp/ares/achievement/4634379>" 2 種類の麻酔情報管理システムを使用した経験から－PrescientOR と ORSYS との比較 (主に PrescientOR が優れているところについて). 第 35 回日本麻酔/集中治療テクノロジー学会. 2017.8 (札幌)
3. 星 拓男, 綾 大介. 距離の離れた場所で診療を行うための工夫. 第 35 回日本麻酔/集中治療テクノロジー学会. 2017.8 (札幌)
4. 吉田幸恵、半田育子、鈴木昌子、金澤順子、星 拓男. 婦人科患者の開腹手術における全身麻酔導入後の肌の露出状況調査. 第 39 回日本手術医学会総会. 2017.10.6-7 (東京)
5. 星 拓男. 出血量は正しく予想できているか. 第 33 回体液・代謝管理研究会. 2018.1 (札幌)
6. 綾 大介, 星 拓男. 自動麻酔記録における退室前輸液残量入力チェック機能の効果. 第 33 回体液・代謝管理研究会. 2018.1 (札幌)
7. 星 拓男. 手術時間と予想出血量の正確さ. 第 18 回麻酔科学ウィンターセミナー 2018.2.9-11 (札幌)

平成 28 年度

【論文】

1. Hiroshi Ueda, Takuo Hoshi. Functional residual capacity increase during laparoscopic surgery with abdominal wall lift. Rev Bras Anesthesiol 67(3): 284-7, 2017
2. 星拓男: neurological pupil index および縮瞳速度に対するプロポフォールおよびレミフェンタニルの影響. 麻酔 66(2);174-6,2017
3. 下河邊美香、星拓男、柏旦美、上田昌代、吉田千賀子、吉良淳子: ICU における家族看護の満足度: 看護師と家族に対するアンケート調査から 日集中医誌 23(3):359-363,2017

【学会発表】

1. 鶴田昌平、星拓男. 胸部硬膜外カテーテル挿入における椎間同定法ごとの正確性の検討. 日本臨床麻酔学会第 36 回大会、2016.11(高知)
2. 鈴木恵、星拓男. 腸間膜牽引症候群の調査及び検討. 日本臨床麻酔学会第 36 回大会、2016.11(高知)
3. 星拓男. 手術部位感染 (SSI) と体重との関連. 日本臨床麻酔学会第 36 回大会、2016.11(高知)

4. 綾大介、星拓男．生理食塩液プレフィルドシリンジ(生食シリンジ)導入の効果．第17回麻酔科学ウィンターセミナー、2017.2(北海道)